

**製品名: ABHD14B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06436**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	ABHD14B
別名	ABHD14B; CIB; Abhydrolase domain-containing protein 14B; CCG1-interacting factor B
遺伝子 ID	84836.0
SwissProt ID	Q96IU4
免疫原	抗血清はヒト ABHD14B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

**背景**

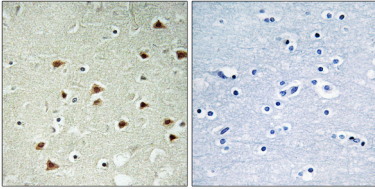
機能:p-ニトロフェニル酪酸に対する加水分解活性を有する (in vitro)。転写を活性化する可能性があります。類似性:AB加水分解酵素スーパーファミリーに属します。ABHD14ファミリーです。細胞内局在:主に細胞質内。サブユニット:TAF1 と相互作用する可能性があります

あります。、組織特異性:普遍的。脾臓、胸腺、前立腺、精巣、卵巣、小腸、結腸、末梢血白血球、心臓、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、膵臓、腎臓で検出されます。、機能:p-ニトロフェニル酪酸に対する加水分解活性を有する (in vitro)。転写を活性化する可能性があります。、類似性:AB加水分解酵素スーパーファミリーに属します。ABHD14ファミリーです。、細胞内局在:主に細胞質内。、サブユニット:TAF1と相互作用する可能性があります。、組織特異性:普遍的。脾臓、胸腺、前立腺、精巣、卵巣、小腸、結腸、末梢血白血球、心臓、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、膵臓、腎臓で検出されます。

## 研究分野

-

## 画像データ



ABHD14B抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。